

令和4年度 第1回下関医療センター地域医療支援病院運営協議会  
(JCHO地域協議会) 議事概要

下関医療センター地域医療支援病院運営協議会(JCHO地域協議会)については、新型コロナウイルス感染を鑑み通常開催が難しいと判断し書面会議での開催とした。

- 発送文書 令和5年1月16日(月)下医発事第0116001号
- 文書送付先 外部委員
  - 飴山 晶 一般社団法人 下関市医師会会長
  - 石丸 文至 下関市保健部部长、下関市立下関保健所所長
  - 芳川 修栄 一般社団法人 下関市歯科医師会会長
  - 浜田 幹生 一般社団法人 下関市薬剤師会副会長
  - 島田 達生 下関市消防局局长
  - 櫛田 宏治 東亜大学学長
  - 波佐間 清 下関市社会福祉協議会会長
  - 上村 和治 上新地自治連合会、上新地町二丁目自治会会長
  - 義原 洋志 伊崎自治連合会、伊崎二町自治会会長
- 院内委員
  - 山下 智省 独立行政法人地域医療機能推進機構 下関医療センター院長
  - 神崎 啓慈 独立行政法人地域医療機能推進機構 下関医療センター事務部長
  - 古賀 美砂紀 独立行政法人地域医療機能推進機構 下関医療センター看護部長
- 添付資料
  - 資料1 令和4年度TQMプレゼン大会冊子
  - 資料2 令和4年度TQMプレゼン大会DVD
- 議事概要
  - (1) 本年度開催されました、TQMプレゼン大会の資料をごらんいただき、ご意見及びご質問がございましたらご記入ください
    - まだ終わらないコロナ禍の中ご苦勞様です。DVD制作も大変な作業だと思います。下関医療センターの思いや取り組みが、よく伝わってきました。早く対面で行えることをお祈りいたします。
    - 未だ終わりの見えないコロナ禍の状況下において、また大変ご多忙な業務の中で、各部署内で協力し合い非常に有意義且つユーモラスな発表で、興味深く拝見させていただきました。ありがとうございます。  
当会におきまして特に注力しているのが「かかりつけ患者さん情報の連携」です。薬局において、かかりつけ患者さんが、貴院へ入院される情報を入手した場合「入院時服薬情報提供書」の提出及び「入院時持参薬の整理」に努めております。また退院時に在宅医療に移行するケースでは、「退院時共同指導料」にて、病院薬剤師1名と保険薬局薬剤師1名によるZOOMなどでの情報交換でも加算がついております。今後とも貴院と入院～退院までのシームレスな連携を深めていきたいと考えております。宜しくお願い致します。

- ①「GOTO…」と③「安心して下さい…」  
最近、在宅支援や入院については、日数に制限があり患者は非常に敏感です。支援加算があることは、知らない人が多いのもっと PR してほしい。
- ④「火災発生時の初期対応」
  - ・火災対応に関して、防災の意識改革が必要である。
  - ・防災訓練を定期的実施して、初期対応を高めていくことが大切である。
  - ・質疑の中にあつたように「患者の目線で」とあつたが、そのように実施してほしいと思います。
- ⑤「制限ばかりじゃね…」  
家族にとって、入院している患者は大切な人であり、とても会いたいと願っています。面会制限や外出に対する工夫には頭が下がり、ありがたく思います。今後も入所者の様々なニーズに対応できるように支援を継続してほしい。自立支援の役割を再認識して、対応してほしいです。
- ⑥「食事嚥下職の…」  
この嚥下職の改良はとても良いです。  
ミキサー食も同様に味や量の改善など効果もある。  
今後も、様々な微調整をしながら、対応してください。
- ⑧「青ちができてる…」  
採血、再採血の減少や、採血用具の購入費の減少は経費削減効果あり。有効な成果あり。
- ⑨「エンドさんが増えたら…」  
大きな課題であり、派遣職員の増員になるような魅力がある職場と、待遇改善を図る必要がある。
- ⑩「記録はモリちゃん…」  
内視鏡検査については、患者は大きな不安を抱えています。その説明を動画作成により、わかりやすく短時間でできることは、患者の不安をなくし、その後個別に質問に対応できるメリットがある。とても良い。  
看護師の説明が短縮されその他の仕事に対応できる。イメージがわき理解しやすい。
- ⑪「さあーて今週のサマリさんは…」  
地域で患者さんの「情報を共有して連携」をすることの必要性はとても大事なことである。多職種で情報を一元化することは、包括的ケアの実践としてとても有効である。退院サマリを作成し、今後閲覧率を上げてほしい。
- 医療向上に対する各局面の取り組みご苦労様です。今後とも地域医療の核として頑張ってください。
- 病院を上げて医療の質向上のために TQM 活動は素晴らしいと感じました。内容はもとより、いかに患者に向き合い、安心・安全で満足な医療を提供できる体制を作ろうという姿勢がとても表れていたように感じます。  
全てのテーマにおいてこれで完結というものではなく、永遠に追求し続けなければいけないと思いますが、プレゼン大会を開催することで、何気なく見過ごしていた問題点などを、それぞれを課題としてとらえ、向き合うことで更なるレベルアップが図れるのだと感じました。  
それぞれの職種が情報共有をして、病院全体の改善意識の向上を図る取り組みに感動しました。

(2) その他、ご要望及びご意見がございましたらご記入ください。

- コロナ禍が長引き医療機関の方々も振り回されているのではないかと痛感しています。

それだけに、その苦労の中行われている TQM 活動をはじめ病院の取り組みをもっと地域に発信する機会が増えればと感じます。

すでに HP などでの発信は承知しておりますが、TQM プレゼン大会を一般にオープンしてみたり、コロナ禍で難しいとは思いますが、交流する機会もあると、よい地域に密着する医療ができるのかなと素人考えではありますが感じます。

医療従事者による地域での出前教室なども期待しています。

今後とも地域医療の為によろしくお願いいたします。